



①子どもは、家族や一時あずかりに預けて、ママたちだけの時間です。②すくっぴーひろばスタッフのおススメ絵本。ほかにもおススメがいっぱいあるので、スタッフに聞いてみてくださいね。③出来上がった料理を食べながら、楽しいおしゃべり。ママ同士で話が弾みました。

Tagamama party 開催しました！

6月4日土曜日、多賀城に転入したてのママ11人が参加して、「Tagamama party」を開催しました。この日は、多賀城産の食材を使った簡単なランチづくりをしました。「古代米のおにぎり、郷かぐらDEみそ玉、ぬか茶DE杏仁豆腐（上記写真）」といった美容にも良いメニューです。食材や栄養のことについてお話ししながら、手際よく、みんなでクッキング。料理完成後は、おしゃべりを楽しみながら試食しました。最後に、すくっぴーひろばスタッフが「ママのための絵本の読み聞かせ」を行いました。普段、子どものために読むことの多い絵本ですが、この日は、「ぼく、おかあさんのこと・・・」という絵本をママに向けて読みかせ。参加した方からは「同世代の子どもを持つママさんたちと育児や多賀城のことを情報交換できて楽しかった。」「久々に一人の時間が取れてリフレッシュできて楽しかった。」などの感想がありました。

多賀城市は転入率が県内ナンバー1。転入したてのママたちは、引っ越してきて、お友達がいらない、まちのことがよく分からないという共通の悩みを持っていました。そこで、この企画には、そんなママたちの情報交換・友達づくりのきっかけにしてほしい、もっと多賀城を知ってもらい、まちを好きになってほしいとの思いを込めました。慣れない土地で不安なことも多いママたちのつながりづくりや多賀城のことを知ってもらうきっかけづくりになったのではないのでしょうか？

平成28年度多賀城市教育・保育施設等 職員研修会 実施報告



6月5日日曜日、文化センター小ホールで「平成28年度多賀城市教育・保育施設等職員研修会」が開催され、175人が参加しました。

宮城学院女子大学教育学部の足立智昭教授から「生きるよろこび、生きる力～子どもの学びを育む環境をつくる～」と題し、昨年を引き続いて講演いただきました。

足立先生からは、家庭や保育者は、子どもの「生きる喜び」や「生きる力」を育てるために、「子ども自身の育つ力を支援することが大切であること」、人の心の根っこになるランドスケープ(人や文化を含めた心象風景)を育成するために、「(子ども時代を過ごす)多賀城にしっかりと心の根を下ろして育っていくことが大切であること」などをお話いただきました。

また、体験を通じた子どもの主体性を育む環境づくりの興味深い実例などもお話しいただき、保育現場の良い参考となっていたようでした。



パパと遊ぼう 大好評でした！

5月29日日曜日、すくっぴーひろばで、パパと子どもを対象にしたイベントを初開催しました。

今年4月にオープンしたすくっぴーひろばは、土曜・日曜・祝日も開館し、今まで以上に多くのパパたちにも来ていただいています。そこで、パパと子どもと一緒に楽しめる「体を使った遊び」を、すくっぴーひろばの男性スタッフの指導で行いました。

30分ほどの体遊びでは、汗びっしょりになりながら、子どもと体操。その後、パパ同士の情報交換(おしゃべり)タイムもありました。子育てや家族のことなど、男同士でのお話が盛り上がっていました！



- ①幼稚園児から高校生までの合唱団の皆さん
- ②歌声にうっとり
- ③曲に合わせてまりつきの実演もありました



感動！親子ハッピーコンサート

6月19日日曜日、ゆずりの葉少年少女合唱団の皆さんが、素敵な歌声で、トトロメレーや童謡「まりつき」、「わせねでや」といった曲を聞かせてくれました。参加した65人の親子からは「歌声がすごく心に響いた。」「涙が出そうでした。」といった感想が多く寄せられました。



soda+(そだつ)は、「多賀城で楽しく育つ」ための、子育て世代応援のための情報誌です。子育てママやパパ達と一緒に作り上げます。

soda+は、「soda(育つ)と「t(多賀城のt)を掛け合わせた言葉です。子どもが育つ、大人が育つ、だから、まちが育つ...をコンセプトに、これからも、素敵な情報発信をしていきます！